

教科

美術

学年

第2学年

単元名	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎ガイダンス ○アートカードゲーム	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・いろ、かたちなど、造形的な視点について考えることができる。	・2枚のカードからいろ、かたちなどの共通点を見つけ出し、造形的な視点について理解することができる。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしているか。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもつことができる。
◎絵や彫刻など ○イメージを形にすると（モダンテクニック）	・偶然生まれる形や色彩の組み合わせから自分の気持ちや情景をイメージする。	・色彩や形が作品に影響を及ぼすことを理解できる。 ・モダンテクニックの技法をそれぞれ理解できる	・技法がそれぞれある中で題材、主題に合わせたものを選択することができる。	・自分に合った表現をするために技法を積極的に見つけようとしている。 ・技法を組み合わせて構成したり、かけ合わせたりなど工夫しようとしている。
◎工芸分野 ○オリジナルのハンコを作ってみよう（てん刻）	・使用する場面や目的を考えながら制作する。	・陽刻、陰刻の違い、ハンコの仕組みを理解できる。 ・印刀の正しい扱いを学習し、安全に制作することができる。	・抽象的なものや具象的なものなど自分が興味をもって創造的な形を作成することができる。	・ハンコの歴史や利便性を積極的に知ろうとしている。
◎鑑賞 ○デザインの手でできること	・歯磨き粉やベビー用品を鑑賞して、生活の中の美術の働きかけについて考えることができる。	・デザイナーが考えたベビー用品の食器を鑑賞し、普段使用しているスプーンやフォークとどのような点が異なるのか造形的な視点で捉えて考えることができる。	・生活の中の「暮らしやすさ」について機能性や目的を考え、鑑賞活動を通して見方や感じ方を広げることができる	・歯磨き粉やベビー用品を鑑賞して、生活の中の美術の働きかけについて考えたり、クラスメイトと意見を交わして、考えを深めようとしている。
◎デザイン分野 ○ピクトグラム	・自分の住む地域の人や、町に訪れる多様な人が施設や場所などの情報を分かりやすく伝えるデザインを考えることができる。	・形などが感情にもたらす効果を意識しながら全体に注目して造形的な特徴からイメージを捉えることができる。	・伝える場所や施設のイメージから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和をとることができる。	・生徒が自分の地域のことにに関して、主体的に調べたり、イメージを広げようとしている。
◎彫刻分野 ○そっくりにつくろう！	身近な石の色や形、質感を感じ取り、制作する。	・石の色や形に着目し、造形的な視点を捉えて制作する。 ・ねんどや絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	・身近なものをみつめ、感じた形や色、質感の特徴や美しさなどを基に、主題を生みだし、全体と部分の関係などを考え、構想を練っている。	・普段何気なく見かける石に目をあて、工夫したり、造形的なよさや美しさを探求しようとしている。